

アメリカの強制収容所を描き続けた画家

2012年 秋季特別展

ヘンリー杉本 とその時代

Henry Sugimoto
and the historical background of his age

10.20(土)~11.25(日)

和歌山市立博物館

WAKAYAMA CITY MUSEUM

〒640-8222 和歌山市湊本町3-2 (市民会館・図書館 西となり)
TEL 073-423-0003
www.wakayama-city-museum.jp

■入館料

一般・大学生 500円 小中高生 100円

※和歌山市が発行する老人優待利用券をお持ちの方は、本人のみ無料。

※団体(20名以上)は2割引。

※毎土曜日は市内の小中高生無料。

※11月17日(土)、18日(日)は「関西文化の日」にちなみ無料。

■開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

■休館日 月曜日

<後援>和歌山大学紀州経済史文化史研究所

■映画上映会 14:00~15:00 2階講義室

11月24日(土)『古里:失われた村、ターミナル島』上映

解説:太地町歴史資料室 学芸員 櫻井敬人氏

■特別講演会 いずれも13:30~15:00 2階講義室 定員120名

10月27日(土)「ヘンリー杉本とキャンプシーン-その生涯を辿る-」
当館学芸員 山下奈津子

11月3日(土)「海を渡った和歌山県人-移民の軌跡を振り返って-」
和歌山大学観光学部 准教授 東 悦子氏

11月10日(土)「北米日本人移民とヘンリー杉本」
和歌山市民図書館 資料班長 中谷 智樹

■関連イベント

和歌山大学紀州経済史文化史研究所 巡回パネル展
「移民の仕事とくらし-アメリカ、カナダ、ブラジル、オーストラリア-」
(博物館2階ギャラリー 要博物館入館料)

和歌山市民図書館 写真展「北米日本人の収容所」
(図書館3階 ※入館無料)

特別展 ヘンリー杉本とその時代

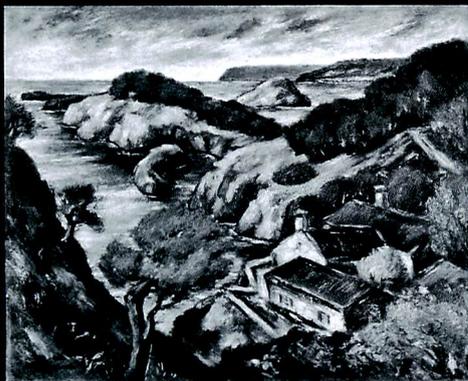
和歌山市役所の玄関上に掛かる絵を見上げたことがあるだろうか。我々の暮らしを見つめるあの絵の作者こそヘンリー杉本（1900-1990）である。

現在の和歌山市出身である杉本は、父母に呼び寄せられ戦前に渡米。そこで画家としての名声を得始めていた。しかし、日米の開戦と同時に、彼を含めた日系人の多くは敵性外国人として収容所へ入れられる。杉本は、画家として収容所内の出来事を描き、それは後に「ドキュメンタリー絵画」と呼ばれ、アメリカの歴史的一幕を描いたものとして評価されていく。

本展覧会では、和歌山市に寄贈された収容所内の絵画を中心に、彼の画家としてのキャリアとともに、日本のアメリカ移民史に心を寄せ続けた生涯を概観していく。



ヘンリー杉本「自分は米国人なのだろうか」
(和歌山市民図書館蔵)



ヘンリー杉本「カーメルハイランド海辺」
(和歌山県立近代美術館蔵)



ヘンリー杉本「沼地の収容所」
(和歌山市民図書館蔵)



ヘンリー杉本「水郷シャートルの秋」
(個人蔵)

■展示構成

- 第1章 「ヘンリー杉本」誕生
- 第2章 日系人収容所を描く
- 第3章 画家として、移民として

■展示解説

10月27日(土)、11月24日(土)の講演会
及び映画上映会終了後に行ないます。
(30分程度)

■市民図書館でのイベント

11月4日(日)
14時～15時 3階ホール
スライド上映会
「ヘンリー杉本氏が語る北米日本人
の収容所」

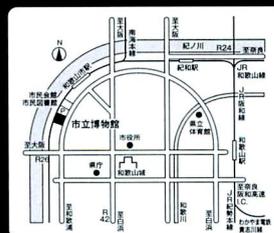
※会期中、一部展示替えを行ないます。

■展覧会のご案内

- ・和歌山県立博物館 (和歌山市吹上1-4-14)
特別展「高野山麓 祈りのかたち」
10月20日(土)～12月2日(日)
- ・和歌山県立近代美術館
(和歌山市吹上1-4-14)
「幻想の美術」「コレクション展2012-秋」
開催中～11月25日(日)
「生誕120年記念 川口軌外の歩み展」
11月10日(土)～2013年1月14日(月・祝)

和歌山市立博物館

〒640-8222
和歌山市湊本町3-2
TEL 073-423-0003
<http://www.wakayama-city-museum.jp/>



南海和歌山市駅より徒歩5分
市民会館・図書館 西となり